

没後20年 Kiko Mozuna Exhibition;

毛網毅曠の建築脳

Memory, Vision and Architecture

記憶を結び、共生の未来をイメージする。



毛網毅曠（釧路市立博物館）
1984（昭和59）年 釧路市春湖台
●撮影 藤塚光政

2020(令和2)年

7月18日(土) = 10月11日(日)

観覧料：一般 900(700) 円、高大生 400(300) 円、小中生 100(50) 円

- ()内は団体(10名以上)、親子(高校生以下の子とその親)、リピーター料金(当館展覧会チケット半券提示)
- 釧路、根室管内在住の高校生以下は観覧無料の「そあっこ」! 釧路芸術館ボランティアの会SOAがご招待します。
- 学校の教育事業活動による小・中・高校生(引率者含む)の観覧は無料。●障がい者手帳、療育手帳等をお持ちの方及び付き添いの方は無料。特別支援学校の児童生徒及び引率者は無料。

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：8～9月中の月曜日(ただし8月10日山の日、9月21日敬老の日は開館)、8月11日(火)、9月23日(水)、10月5日(月)

※7月18日～31日(金)は休まず開館します。

夜間開館日：7月18日(土)、31日(金)、8月7日(金)、8日(土)、14日(金)、15日(土)、
〈午後6時〉 21日(金)、22日(土)、28日(金)、29日(土)

主催／北海道立釧路芸術館、釧路市、釧路市教育委員会、北海道新聞釧路支社、
「毛網毅曠の建築脳」展実行委員会 後援／FMくしろ

協賛／道立釧路芸術館ボバ&ものの会、釧路芸術館ボランティアの会 SOA



北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido

〒085-0017 釧路市幸町4丁目1-5
TEL 0154-23-2381 FAX 0154-23-2386
<http://www.kushiro-artmu.jp>



毛綱毅曠の建築脳

記憶を結び、共生の未来をイメージする。

毛綱毅曠(1941年～2001年)は、釧路市生まれの建築家。高校まで釧路ですごしたのち、神戸大学工学部建築学科に学びました。

1972(昭和47)年、釧路市に住む母のために《反住器》を富士見町に建築。三つの立方体を入れ子状に組みあわせるという斬新な設計が注目を集めました。

1976(昭和51)年に神戸から東京へ移住して、'78年に毛綱毅曠建築事務所を

設立。宇宙・建築・人間の関係性に深く思いをはせ、東洋古来の風水思想を反映した建築を主張。機能性や合理性を追求する近代建築を鋭く批評し、その限界を乗り越えようとする「ポスト・モダン」の時代において、最前衛として駆け抜けていきました。

釧路を中心とする道東の地で、毛綱建築は深いゆかりを持っています。姉夫婦の住宅《北国の憂鬱》(1969年、現存せず)から始まった故郷での設計活動は、釧路市立博物館と釧路市湿原展望資料館(現・釧路市湿原展望台)へと結実していき、1984年度の日本建築

学会賞(作品)を受賞しています。母校にあたる釧路市立東中学校(1985年、現・釧路市立幣舞中学校)、釧路川畔にたたずむ釧路キャッスルホテル(1987年、現・釧路センチュリーキャッスルホテル)、釧路フィッシャーメンズワーフMOO(1989年)、そしてアイヌ民俗資料館(1982年、現・弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館)、白糠町立茶路小中学校(2002年)など、いまなお、いくつもの毛綱建築が、釧路と道東の景観に独特の存在感を放っています。

本展は、毛綱毅曠没後20年を前に、図面や写真、関連資料により毛綱が建築に込めた思いや哲学を振り返ります。また、実際に毛綱建築の中で長い時間を過ごされてきた方々の言葉を通して、年月を積み重ねるなかで深められていく、毛綱建築の魅力に迫ります。

本展が、地域の文化資産としての毛綱建築のかけがえのない価値を、より多くの方々に知っていただく機会となれば幸いです。

1.毛綱毅曠《反住器》1972(昭和47)年 釧路市富士見町 写真提供:北海道新聞社 2.毛綱毅曠ポートレート 3.毛綱毅曠《釧路市立博物館俯瞰図》毛綱毅曠建築事務所蔵(多摩美術大学美術館寄託) 4.毛綱毅曠《釧路市湿原展望資料館》(現・釧路市湿原展望台) 1984(昭和59)年 釧路市北斗 5.毛綱毅曠《釧路市立東中学校》(現・釧路市立幣舞中学校)1985(昭和60)年 釧路市春湖台 6.毛綱毅曠《釧路フィッシャーメンズワーフMOO》1989(平成元)年 釧路市錦町 ●撮影 藤塚光政 (2,4,5,6.)



フリーアートルームの展示

観覧無料



大漁旗展
つたえる、いろどる
8月29日(土)～9月27日(日)

かつて、大漁の合図を送るために使われていた大漁旗は、現在では進水式を迎える漁船への贈り物として親しまれています。大漁旗のデザインや制作技法を紹介するとともに、そのシンボルに込められた人々の思いや願いをさぐります。

《大漁旗 祐生丸》厚岸町海事記念館蔵 ▶



ご来館のお客様へ

● 入館にあたってのお願い

- 発熱や体調不良等の風邪症状のあるお客様は、ご来館をお控えください。
- 館内入口にて必ず検温を行います。37.5℃以上の発熱が認められた場合、入館をお断りいたします。
- マスクをお持ちの方は、マスクの着用をお願いします。

● 緊急連絡先記入のお願い

来館者や職員に新型コロナウイルスによる感染者が発生した場合に、その事実を皆様にお伝えするため連絡先の登録をお願いしています。



交通のご案内

- JR釧路駅から、徒歩で約15分(南へ約1.2km)。
- くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩で約5分。
- 釧路空港から市内行きバスで約50分、「フィッシャーメンズワーフMOO」停留所下車、徒歩で約2分。

P 来館者専用駐車場は、8台分ございます。

満車の場合は、釧路錦町駐車場をご利用ください。展覧会ご観覧の方は利用料金が1時間無料に。駐車券を当館受付にご提示ください。

北海道立 釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido



〒085-0017 釧路市幸町4丁目1-5
TEL 0154-23-2381 FAX 0154-23-2386
<http://www.kushiro-artmu.jp>

【指定管理者】 釧路芸術館共同事業体【施設設置者】 北海道教育委員会
(北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表TEL.011-231-4111)